

帯広畜産大学同窓会報

第27号 令和2年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

大学構内の酒蔵、上川大雪酒造「碧雲蔵」で新酒を醸造・発売！



上川大雪酒造「碧雲蔵」は、最盛期には15歳ほどあった日本酒蔵が昭和を最後に現在は0歳となった十勝で、地元にも愛される地酒造りを目指し、帯広畜産大学と連携した日本酒の次代に向けた人材を行うことを目的につくりました。本年5月に製造棟とセミナー棟が完成し、試験醸造酒を返礼品としたクラウドファンディングを行い、大学OBの方々をはじめ、全国から大変多くの応援購入をいただき、日本酒関連のクラウドファンディングでは歴代最高額に達しました。ご支援いただきました皆様には、改めて御礼申し上げます。

「碧雲蔵」では、9月末より新酒の本格醸造を行い、11月より地元向けの新酒を発売してまいります。その後、道内の酒販店はじめ自社オンラインショップ等に

より全国の皆様にも販売を行なっていく予定です。また、酒蔵に併設したGift Shopでは、限定酒やグラス、ぐい呑みなどのオリジナル商品も販売をしていく予定ですので、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

「碧雲蔵」で醸造するお酒は、北海道産の酒造好適米と日高山脈に源をなし、何度も日本一の清流に輝いた「札内川」系の中硬水を使用し、手造りの伝統的な手法で一本一本のもろみを丁寧に仕込む、小仕込み・高品質の酒造りを行なってまいります。

極端なものではなく、普通に美味しいお酒。食の宝庫・十勝の食材とともに食中酒としてみんなで楽しく飲める酒造りを目指します。

帯広畜産大学は、北海道の醸造家を輩出してきた歴史があります。北海道内では、現在も道産酒を担う同大学出身の杜氏さんが多く活躍されています。

私たちの挑戦は、日本を代表する農業王国・十勝で愛される地酒造りを目指し、帯広畜産大学と連携した日本酒の次代に向けた人材を行うことです。

本年、弊社の総杜氏・川端慎治が帯広畜産大学の客員教授に就任いたしました。大学や地域関係機関と共に発酵学や醸造学の教育研究を行い、ここ北海道十勝から、次代の醸造家を育てて参ります。そして、帯広畜産大学から更なる醸造家が生まれるきっかけとなれば幸いです。今後ともご支援、ご愛顧を賜れますようお願い申し上げます。



会 長 挨拶

帯広畜産大学同窓会会長
西 田 謙
(昭和51年草地)



会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より畜産大学と同窓会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

砂川前会長の後任として、昨年10月から会長を務めさせていただいております西田謙です。鹿児島県（種子島）出身ですが、卒業以来ほとんどを帯広に住み、同窓会の代議員や同窓会十勝の役員であったこともあり、ご指名をいただいたものと思っています。大変光栄に思っております。これまで先輩方が築いてこられました「大学と同窓会とOBの皆様との絆を強くする同窓会活動」をしっかりと受け継いでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の大学及び同窓会の多くの行事がコロナ禍の影響で中止となっています。特に、「ちくだいホームカミングデー2020」の中止は、4月に大学構内に完成した上川大雪酒造の「碧雲蔵」の初しぼり日本酒の試飲を大変楽しみにしていただけに残念であります。また、コロナ禍の状況下では、とりわけ学生への支援が大変重要な課題となっていましたが、奥田学長のリーダーシップの下、全教職員が一丸となって、まずは全ての学生が平等にオンライン授業を受けられるシステムを大学負担で短期間に構築するとともに、困窮学生への支援についても、国の支援に加え、大学独自でも支援していると伺いました。学生ファーストの素晴らしい取組みです。学生数が少ない畜産大学だからこそなしたことは言え、大変なご苦労があったものと推察いたします。教職員の皆様のご尽力に敬意を表します。

また、同窓会としても家計の困窮が原因で修学を断念する学生を出さないための支援ができないか、大学当局に相談しましたところ、大学の修学支援を補完する支援策のご提案をいただき、さっそく臨時の役員会及び代議員会において書面協議を行い、次のとおり支援策を決定しましたので、お知らせいたします。

《支援策》

- 1 必要支援最大限度額を300万円として対応する。
- 2 一度に使用し切るのではなく、状況に応じて対応する（不要であれば使わない）。

3 対象学生は大学と協議して決定する。以上です。

これまで畜大基金の充実について、同窓会としても会員の皆様にご寄付のご協力をお願いしているところですが、毎年寄付件数が増加していると同っています。皆様のご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともご理解ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後に会員の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しますとともに、同窓会に対してさらなるご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。来年こそは全ての支部の総会及びホームカミングデーで皆様にお会いできることを楽しみにしています。

大学の近況： コロナ禍への本学の対応

帯広畜産大学長
奥 田 潔
(昭和52年獣医)



新型コロナウイルス感染症は社会活動全体の制限を余儀なくしました。大学から感染者やクラスターを出してはならないと世界中の大学がオンラインによる遠隔授業で対応し、現在も継続されています。この間、同窓生の皆様から多くのご心配とともにご支援をいただいておりますことから、この紙面を使わせていただき本学のこれまでのコロナ対応についてお伝えいたします。

まず卒業式、入学式を開催しないことを決め、学長告辞はオンラインで発信しました。この大きなセレモニーが開催されなかったことは、卒業生、入学生だけでなく教職員にとっても大変残念なことでしたが、感染予防の観点から断腸の思いで決断しました。卒業生にとっては同期の仲間と卒業の喜びを分かち合い、先生や友達に感謝と共にお別れを言う機会を奪ったこと、また、入学生にとっては同期の仲間と言葉を交わす機会もなく数ヶ月を送らせることになり、学長として大変心苦しく思っています。

授業は5月11日にオンラインで開始しました。先生方には遠隔実習でも教育効果が上がる方法を日夜模索し努力していただいています。本学の特徴である実習に関しては、現場で手を動かすことは出来ないまでも、必要な情報を現場の雰囲気や伝わる様に工夫していただき動画で配信しています。どうしても対面で実施しなければならない実習に関しては、人数を制限した班単位で実施しています。学生、教員の体温検査、三密を避け、定期的な換気など徹底した注意を払いながらの講義に、先生達だけでなく事務職員も一体となって取り組んでいます。「学生達に公平に講義を受けてもらうこと」を合い言葉に、3月中頃から教職員が一体

となって準備にとりかかったお蔭で、実施上の大きな問題もなく、私達の心配をよそに学生達の評価は高かったことをご報告いたします。Zoom環境の構築、PC、ルーターの購入、貸与などオンライン環境の構築には、同窓生の皆様からいただいた大学基金を活用させていただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

大学は勉学だけでなく課外活動も含めコミュニケーション能力、社会性を育む大切な場です。一人自室で受講するオンライン授業だけでは、教員からの一方的な配信に留まり（チャット機能で教員とのコミュニケーションは図っています）、彼らのコミュニケーション能力、社会性を育むことに限界があることは明らかです。人との接触が限定されるコロナ禍の中で、世界中の大学が抱える喫緊の課題です。本学に入学した学生達が、満足できる時間を送ることができるよう今後も最大限の努力をしていく所存です。今後とも温かく見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。

その他、ここ1年の近況としてお伝えしたいことが2点あります。

1. 日本酒酒蔵「碧雲蔵」の始動：上川大雪酒造株式会社の酒蔵「碧雲蔵」が大学構内に発酵学（応用微生物学：醸造学）の実習施設として建設され、試験醸造された日本酒が多くの方々から高い評価をいただきました。クラウドファンディングで応援いただいた同窓生の皆様には心からお礼申し上げます。本年中には「碧雲蔵」で造られた本仕込みのお酒が全国で楽しんでいただけます。
2. 獣医学教育の国際認証：北大と実施しています共同獣医学課程の教育が、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）から欧州で実施している教育と同等であるという認証を取得しました。本学の卒業生が世界で活躍できる機会が大きく広がったこととなります。

本年度はコロナ禍のせいで「ホームカミングデー」の開催が中止となり、皆様とお会いすることができず残念に思っています。来年度のホームカミングデーでは「碧雲蔵のお酒」で皆様と乾杯できることを信じています。

皆様のご健康を心からお祈りしております。

理事・副学長就任にあたって

理事・副学長

福島 道広
(昭和58年環境)



令和2年4月1日付けで本学の教育担当理事に就任いたしました。私は本学畜産環境学科を昭和58年3月

に卒業後、本学大学院畜産学研究科修士課程を昭和60年3月に修了し、平成元年10月に本学の助手に着任し、現在に至っております。研究分野は栄養生化学分野で食品成分の健康機能性の解析研究を続けてきております。

大学の管理運営に関しては、部門長、副理事を歴任し、2年前に副学長に就任しました。その間、大学の管理・運営業務について携わる機会も増え、理事・副学長を拝命したときも、今までの経験を活かせばと、呑気に考えておりました。

しかしながら、私が就任したときは、新型コロナウイルス感染症により全世界の社会活動の制限が余儀なくされており、本学でも例外ではありませんでした。危機管理室長として週1回危機管理室会議を開き、学生・教職員への感染症予防の徹底周知と教育研究活動の制限、課外活動の制限、学内施設の利用制限、学外者の入構制限等々決議した結果を、随時ホームページ等で配信しており、それに付随してオンライン授業の整備やWiFi環境の整備など、解決しなければならない問題が山積みの中、全教職員のご協力のもと、大きなトラブルもなく現在まで経過している状況です。

また、コロナ禍の状況下での学生支援策については、同窓生のご支援のもと、大学に必要な物資のご提供、大学基金での学生援助、同窓会からのご寄付の提供等々、あらゆるご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。このような状況になって、心強いご支援に改めて同窓会の存在の大きさを痛感する思いであります。

襲来したコロナ禍のもと、その対応だけに囚われず、大学の本務であります教育などの業務が滞ってしまわないように、入試業務、教育業務、学生支援業務、課外活動業務など各課と連動しながら日々遂行しております。さらに令和4年4月に三大学法人統合に向けた教育システムの構築を目指し、三大学間で具体的なプログラム作成・実施等についても進めていかなければならない状況にあります。三大学統合は、本学を含む三大学の未来の発展を見据えて、北海道経済・産業に貢献していくという大きな命題を持って加速していく必要があります。様々な分野で活躍し、より一層社会に貢献できる人材が育つよう体制を整えてまいりますので、重ねて温かいご支援をお願いいたします。

以上、現在の私は、就任当初の呑気な考えを捨て、大学運営に取り組む覚悟を持って進めています。同窓会の皆様には、今後とも変わらず大学の発展のために、ご支援・ご鞭撻を賜ればと切にお願い申し上げます。

副学長・事務局長に 就任して

副学長・事務局長

藤波 豊彦



帯広畜産大学同窓生の皆様には、日頃から、帯広畜産大学の教育研究活動・運営において様々なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の対策、対応に接する皆様の安全をお祈り申し上げます。

令和2年4月より副学長・事務局長を拝命いたしました藤波豊彦と申します。平成26年から28年まで、経営管理部長として着任しておりましたので、帯広畜産大学勤務は2度目になります。

令和2年の前半においては、本学のみならず社会全体が新型コロナウイルス感染症の対応・対策に終始していました。コロナ禍は未だ終息の気配を見せず、ウイズコロナ、ポストコロナ、ニューノーマルなどの言葉のように、感染症と向き合った生活を構築し、継続していくことが求められています。今回、同窓生の皆さまだけでなく、教職員も楽しみにしておりましたオープンキャンパスが、今年はWEBオープンキャンパスとなりました。来年以降は、リアルとヴァーチャルとの融合について工夫ができればと考えています。

さて、皆さまご承知のとおり、帯広畜産大学は、令和4年4月に小樽商科大学、北見工業大学と経営統合し、新たに「北海道国立大学機構」(仮称)となります。現在、経営統合のメリットを最大限に生かすべく、教育・研究・経営等について、三大学間で議論を進めているところです。

「今年の予算編成の苦労は、私たちにしかわからない。当事者ではないほかの誰にも何も言わせない。」これは以前仕えた上司の言葉です。仕事に向き合う時において、広く考えを及ぼし、強く実行し、自信の持てる成果を上げるべき教えであり、チームで事を進める重要性も含まれていると考えています。これからの畜大生、教職員に対して、三大学経営統合の最善のスタートが切れたと自信を持って言えるよう、職責を果たしてまいります。

帯広畜産大学同窓生の皆さまのご健康、ご健勝を祈念しつつ、本学に対しての更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支 部 だ よ り

関東同窓会の近況

関東支部長

澤田 拓士

(昭和45年獣医)



令和2年はコロナ禍の年となってしまいました。同窓の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。コロナウイルス感染の終息を願うばかりです。

6月20日に予定していた関東同窓会の総会・懇親会は中止せざるを得なくなり、報告することがありません。とは言え、折角頂いた紙面ですので、事務局の活動状況等を報告させて頂くことにします。

毎年、6月の総会開催の前に1回、開催後7～3月に反省会・会計状況報告・次回総会の準備等で3回の幹事会(役員会)を開いています。今年度は、5月初めの幹事会で総会付議事案の審議、会計監査及び総会・懇親会案内の発送作業をする予定でしたが、コロナのため開催ができなくなりました。そこで、「総会開催中止のお知らせ」の件及び総会で審議してもらう予定の事業・決算報告及び会計監査報告、事業計画及び予算(案)、役員改選(案)の資料を急いで事務局各担当幹事に準備してもらい、幹事を含む役員の承認をメール発信で得た後、密を避けるために発送作業を手分けして3名の幹事をお願いし会員350名に郵送してもらいました。上記の審議事項は通常なら総会で承認を頂くのですが、今回は特例として「幹事会の承認をもって総会の議決とする」ことを承諾して頂きたいと会員にお願いしました。今回の様な事態はこれまでになく、その対応も会則にないことから、「不測の事態で通常総会が開催できない場合は幹事会の承認をもって総会の議決とする」との内容を追加することにしました。

8月末に2月以来の幹事会を北区赤羽公民館で開催、コロナ禍の中にも拘わらず15名の出席を得て、前述した会則改正の件を始め、会費の納入状況、当会が有するメールサーバーとドメインの管理などについて、公民館の厳しいコロナ対策マニュアルを遵守しながら活発な話し合いの後無事終了。残念ながらその後の懇親会は中止して帰宅となりました。今年度は今後の幹事会は中止とし次回は令和3年4月開催(来年度の総会・懇親会の準備)予定としました。また、幹事会では母校関係として、大学構内に碧雲蔵完成、ホームカミングデー中止、松井詩さん(獣医学科6年)「ミス日本酒日本」、飯館村菅野典雄村長(45G)引退表明などが話題になりました。

来年度の総会・懇親会は令和3年6月19日(土)銀座ライオンで開催の予定です。特別公演は今年度の計画に同じく元明治大学農学部教授の竹迫紘さん(42D)に土壌の話をして頂きます。多くの同窓に出席してもらいたいと思います。

関東同窓会の総会・懇親会の案内は会員の方にしか送っていません。現在、関東には約2,000名の同窓が在住されていると推測されますが、多くの方が非会員です。総会・懇親会に出席してみたいと思われる非会員の方々からの連絡をお待ちしています。連絡先は事務局:organizer@chikudai-kanto.jp 又は細川幹事長(48 V):090-9810-2620 又は shukol122hosokawa@ybb.ne.jp です。

新型コロナウイルス感染の流行が終息してこれまで通りの生活に早く戻れることを願い、同窓の皆様の健康と母校の発展を祈念します。

会員の声

楽しい労働生活

北海道酪農検定検査協会
乳牛検定部

中堀 祐香

(平成29年家畜生産科学ユニット、
平成31年畜産生命科学専攻)



幼いころから馬や競馬が好きでした。学部生時代には馬関連の複数のサークルの立ち上げに関わり、学内のみならず十勝管内のさまざまな馬関係者にお世話になりました。そういうわけなので、自分は馬関連の仕事に就くのだろうとずっと思っていたのですが……風向きが変わってきたのは、大学院に残って友人らを見送ったあとのことです。

研究室では統計育種学を学びました。きっと育種に限った話ではないのですが、材料も分析結果も数字の羅列でしかなかったのに、他の情報と結び付けたり、グラフにしたりすると様々な情報が見えてくるって、とても面白いことです。面白さにつられて修士課程に進学したわたしは、卒業後も育種に関わる仕事をしたいと考えるようになりました。

しかしそこでひとつ問題が浮かび上がります。仕事として馬の育種に関われる場が今の日本にほとんどなかったのです。困りました。困ったので、牛に進路を変更しました。現在は北海道酪農検定検査協会での牛群検定に関わる仕事をしています。

ただし、乳牛の仕事をするようになったからといって馬と無関係になった、とは思っていません。現在、

ばん馬の生産は、牛や豚などを本業とする農家さんの副業や趣味として行われていることがほとんどです。農家さんが経営難になったとき、真っ先に切り捨てられるのが馬であるともいえます。さて、わたしたちの仕事の最終目的は、酪農家のみなさんが安定して高い利益を得られるようにすることです。もしそのおかげで利益や余暇のできた酪農家さんが、馬を飼ってみようかな、とか、馬を一頭増やそうかな、とか考えてくれるとしたら、それって、実質馬にも関わっているって言えませんか？さすがにこじつけすぎかも。でも、もしもそんなことがあったとしたら、とてもすてきなと思うのです。

そんな感じで、毎日楽しく働いています。

大学で学んだこと

Café de Camino

細矢 千佳

(平成28年国際協力ユニット、
平成31年資源環境農学専攻)



北の大地への憧れから帯広畜産大学に入学し、北海道で暮らし始めて9年が経ちました。学部と修士その間1年の休学を含めると7年間。人よりも少し長く大学にお世話になり、昨年度からようやく社会人として働きはじめました。

学生の頃は、環境微生物学研究室に所属し、昆虫寄生菌に感染したアブラムシの行動変化と植物ウイルス伝播効率への影響をテーマに研究をしていました。研究室に配属されるまでは、実験は機械を使って分析していくものだと思っていたのですが、決まったのは研究のテーマのみ。実験方法は先生と相談しながら自分で探し、実験に必要な装置がなければ自分で作る。初めは、既製品の機械を使わずにお手製の実験装置で取ったデータで良いの？と疑問に思っていたのですが、「これをしたら正解」という答えがひとつではないことに、初めて気づいた瞬間でありました。目的を達成するための手段は様々あり、最終的にそこに到達出来ればどんな方法でも良い。ただ、方法を間違うととても早く時間がかかります。

目的がはっきりしていても、頭の中で考えて手を動かさないと前に進みません。かといって無闇に進んでも失敗ばかり。過去の文献検索(先行事例を調べる)→実験(実際の行動)→考察をする。あとはこのループの繰り返し。

何度も失敗をするとだんだん視野が狭くなり、何のためにやっているのか、目的が分かりづらくなるのですが、そんな時こそ「何のためにやっているのか？」と原点に戻って目的を再確認する事の大切さを学びました。

さて、現在私は国道241号沿いで畜大出身の足寄ひだまりファームの沼田正俊さん（平成14年畜産管理）が今年オープンさせた「Café de Camino」というカフェで働いています。カフェでは来店されたお客さんの「心の余白づくり」をコンセプトにしています。日常のぴーんと張り詰めた状態を緩め、また次の一歩を進められるように一との想いはあるものの、頭で考えてばかりで行動に移せていないなあと反省しながら、この記事を書いています。

ゆっくりとした歩みではありますが、少しずつ前に進んで参りますので、北海道に、十勝にお越しの際はぜひ足をお運びください。

近況報告、 そして今の思い

内外施設工業株式会社
代表取締役社長

林 克 昌

（平成4年畜産学部草地学科卒業）



卒業から早28年、私は現在、東京銀座に本社を置く、内外施設工業という会社を経営しています。内外施設工業は、主に大手食品・飲料メーカー様、そして大手食品・飲料容器のメーカー様を、直接、お客様とし、お客様が日本全国、或いは世界に展開されている工場の生産ラインの機械装置の設計・製造・据付、熱源設備、産業空調設備の設計・施工を通して、お客様と共にお客様の製品の生産ラインを開発しお納めすることを生業とする技術開発の会社です。子会社に内外ヴィッカーズがあります。皆さんにおなじみのビスケットやクラッカー、プリッツェル等のお菓子の多くを、内外ヴィッカーズ製のトンネルオープン（50m~100m）で焼いて頂いております。

内外施設工業グループには、私の他に、現在二名の帯広畜産大学卒業生が、開発技術者として活躍しています。ひとは大学院修士課程畜産衛生学専攻を平成21年3月に修了された井上陽介さんです。井上さんは現在、清涼飲料缶やペットボトルの製造ライン、清涼飲料の充填ラインの補機設備、産業空調、省エネ設備等の設計・施工に携わっています。もうひとは畜産学部畜産科学科を平成21年3月に卒業された渡邊悠太さんです。渡邊さんは現在、大手菓子メーカーの大型トンネルオープンの設計開発・製造・施工に携わっております。二人とも、お客様の信頼を一身に受けて、今や一流の開発技術者に育っています。

私は帯広畜産大学に学び、北海道で大きな牧草地を持つ酪農家になることを志しておりました。しかし、大学3年生の時に父が病気をし、急遽、家業を継ぐことになりました。卒業後は、設備の設計・施工を学ぶべく、東洋熱工業という空調設備会社に修行に行きま

した。7年程の間、東熱でお世話になり、工事で現場監督として働き、管工事の監理技術者の資格を取った後、内外施設工業に入社いたしました。内外施設工業に入社後は、英語を学ぶ機会を与えられ、米国のコーネル大学の語学学校に行きましたが、そこで、恩師であり、今ではメンターであり、友人でもある Dr. James M. Hagen に出会い、拾ってもらい、同大学の College of Agriculture and Life Science で修士号を取得しました。

ここで、私の中で畜大とコーネル大学を結ぶエピソードの一つをご紹介します。畜大の畜産学部草地学科飼料作物学研究室（当時）で源馬琢磨先生、沢田壮兵先生、三浦秀穂先生のご指導の下、私は『ワイルドライスの育苗』に関する研究を卒論のテーマとして研究させていただきましたが、三浦先生の勧めで、当時としては珍しく、英文で卒論を書きました。実際のところ私の英文は間違いだらけで、ほぼ全文、源馬先生が手直しして下さいたのですが。。。そして、日本作物学会で研究成果を発表する機会を頂き、同学会誌にも掲載して頂いたのです。その日本作物学会誌がコーネル大学の Mann Library にありました。これは同大学院に進むにあたり、本当に助けになりました。また、大学院への出願に当たって、沢田先生と三浦先生に、推薦状を書いて頂きました。推薦状はそのまま願書に添えて提出しまったので、いまだに何を書いて頂いたのかわかりません。しかし、大学院に進学後、日本からの留学生から聞いたところによると、当時は皆さん、自分で推薦状を書いて、先生にはサインだけもらって提出するのが一般的だったのだそうです。卒業して何年もたった学生の推薦状を書いて下さるなんて、畜産大学の先生方に改めて心から感謝し、畜大卒であることを誇らしく思いました。

さて、話は変わりますが、2020年は、2月以降、新型コロナウイルス（covid-19）の世界的な感染拡大を背景とする感染予防対策で、世界的に自粛の年となってしまいました。私は現在、コーネル大学の評議員（University Council）を仰せつかっており、ここ数年、毎年秋にニューヨーク州イサカのコーネルキャンパスで行われる理事・評議員会に出席しておりますが、今年は Zoom によるオンライン会議となってしまいました。私が所属する帯広畜産大学関東同窓会も、6月20日に銀座ライオン7丁目店で予定されていた総会・懇親会を中止せざるをえませんでした。本部をはじめ、日本全国の各支部同窓会においても、同様ではなかったかとお察しいたします。また、毎年楽しみにしている、10月開催予定だった畜大ホームカミングデーも、今年は中止となってしまい、本当に残念でなりません。

しかしながら、現役の学生さんたちをはじめとする、若者たちの不安といら立ちは、想像するに堪えません。畜大も春先に帰省した学生さんがキャンパスに戻れず、しばらくはオンライン授業で凌がれたというお話も伺

いました。実習についても9月になって、人数を制限しながらようやく始まったとか。体育会や分科会の部活、サークル活動も制限されていることでしょう。アルバイトにも制限があるかもしれません。『with corona』と言われ、『もう元の時代には戻らないのだ』という考え方もあるようですが、そんなことはありません。きっと、数カ月後、もしかするとこの会報が発行される頃には、アビガン等の特効薬の使用が承認されたり、ワクチンが登場したりしているかもしれません。きっと近い将来、また肩を組んで逍遙歌を歌える日が来るでしょう。

卒業生の皆さんの中にも、コロナ禍でご苦労されている皆さんがいらっしゃると思います。特に現場、私

たち、工場の現場もそうですが、家畜や食料を扱う現場、生物、植物を扱う研究の現場に携わる皆さんは、知恵を絞って現場を止めない努力をされてきたことと存じます。今こそ、同窓会で情報を共有し、お互いに支え合いながら、このコロナ禍を乗り越えていけたらと思います。

これから一年半後には、畜大、小樽商科大学、北見工業大学の三大学経営統合があります。いろんな議論があるかとは存じますが、個人的には、帯広を中心とする北海道内の総合大学連合の誕生を心待ちにしております。そしてきっとその頃には、このコロナ禍も終息していることでしょう。

Topics

「ちくだいホームカミングデー2019」を開催

10月12日(土)に、卒業生、修了生及び教職員OB・OGの皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくことを目的に、帯広畜産大学同窓会と共催で「ちくだいホームカミングデー2019」を開催しました。当日は、台風の影響が心配されるなか、全国各地から190名(教職員含む)を超える参加者がありました。

講堂で開催した開会式では、奥田学長が挨拶の中で、小樽商科大学、北見工業大学と令和4年4月に経営統合すること、大学構内に酒蔵が建設されることなどについて説明したほか、「大いに語らい、楽しい時間をお過ごしください。」と歓迎の言葉を述べました。砂川同窓会長のご挨拶に続き、大学基金感謝状贈呈式を行い、柳川理事からは本学の近況について説明を行いました。

次に、生命・食料科学研究部門 食品科学分野の山内宏昭教授が「炊き種製パン法を用いた新規ホワイト食パンの研究開発(一産学連携研究の事例紹介)」と題して講演しました。産学連携研究事例として、地元企業と共同開発した耳まで柔らかい「満白食パン」などを紹介し、懇親会ではそのパンを皆さまにご賞味いただきました。

お昼休憩の時間帯には、畜大祭の企画としてOBバンド「PEeb」の演奏があり、激しいパンクのリズムと集まった大勢の同窓生の熱気で会場は大いに盛り上がりました。

午後には、キャンパス見学会(産業動物臨床棟見学コース、総合研究棟I号館周辺見学コース、バスによる構内見学コース、寮(学生寄宿舎)見学コース)を行った後、懇親会を開催しました。天候が不安定だったため、屋内での開催となりましたが、S50年酪農学科卒業の高橋様にそば打ちをご披露いただいたほか、畜大祭からは学生屋台に出張出店してもらい、こだわりのメニューを自ら提供してもらうなど賑やかな懇親会となりました。

最後は参加者全員で円陣を組み、井上理事の前口上で「逍遙歌」(大学の愛唱歌)を大合唱し、盛会のうちに終了しました。



講堂前での集合写真



学長挨拶



砂川同窓会長挨拶



「逍遙歌」を大合唱

馬術部の空屋さんと瀬之口さんが2019年度全日本学生馬術競技大会の全日学生M-D障害馬術競技において、それぞれ優勝と準優勝に輝きました

10月29日(火)～11月5日(火)に、三木ホースランドパーク(兵庫県)で開催された2019年度全日本学生馬術競技大会の全日学生M-D障害馬術競技において、空屋長良さん(畜産科学課程4年)が優勝、瀬之口小夏さん(同3年)が準優勝に輝きました。

M-D障害飛越競技は最大110cmの障害物を飛越する競技で、この競技には全国から24大学、34人馬が出場しました。また、総合馬術競技では2大会連続団体第4位入賞という素晴らしい成績を収めました。

この競技には、全国から25大学(うち団体出場は15大学)、70人馬が出場しました。決められた競技馬場内で、いかに馬を思い通り美しく動かすことができるかを競う「馬場馬術競技(調教審査)」、自然に近い状態の地形に生垣、池、丸太等の障害物を駆け抜ける「クロスカントリー競技(耐久審査)」、様々な色や形で作られた障害物を崩さずに飛越し、走行タイムと障害物の落下の少なさを競う「障害飛越競技(余力審査)」の3種目を、同一人馬により競いました。

2019年度全日本学生馬術競技大会の出場選手は次のとおりです。

○個人出場(M-D障害馬術競技)

優勝 空屋 長良(4年) 柏蓮号(プットオンザリッツ)

準優勝 瀬之口小夏(3年) アルフレード

○団体出場(総合馬術競技)

4位

田神 優香(3年) 柏輪号(バンコジーロ)

空屋 長良(4年) 柏蓮号(プットオンザリッツ)

木本 結衣(3年) 柏玄号(ムゲン)

瀬之口小夏(3年) アルフレード



選手と主将



M-D 競技表彰式

欧州獣医学教育国際認証を取得

帯広畜産大学・北海道大学の「共同獣医学課程(VetNorth Japan)」と山口大学・鹿児島大学の「共同獣医学部(VetJapan South)」が欧州獣医学教育機関協会(EAEVE: European Association of Establishments for Veterinary Education)による認証を取得しました。

EAEVEはオーストリア・ウィーンに本部がある獣医学教育評価機関で、欧州の獣医学教育における質保証の基準およびガイドラインを策定するとともに、構成大学がそれらを遵守しているかについて審査・評価します。評価は、重大な欠陥事項がない「認証」、重大な欠陥事項が1つある「条件付き認証」、および重大な欠陥事項が2つ以上ある「非認証」に分かれています。

4大学はこれまでに文部科学省・国立大学改革強化推進補助事業「国立獣医学系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築」(平成24～29年度)を連携して実施し、補助事業終了後も継続して、国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成、我が国の獣医学教育水準の向上に取り組んだ結果、「認証」の評価を得ることができました。

12月13日(金)に文部科学省記者会見室において4大学合同記者会見を行い、奥田潔学長が4大学を代表して、「今回の認証取得を一つの通過点として、4大学が一層協力関係を強固にし、認証取得の過程で得られた知見を積極的に発信し、我が国の獣医学教育改革を牽引していきたい。」と説明しました。

今後は4大学が認証取得の過程で得た経験と知識を他大学にフィードバックし、我が国の獣医学教育の継続的な教育改革に貢献するとともに、本学としても更に国際通用性の高い獣医学教育の実現に向けて努力を続けてまいります。また、研究基盤に基づく質の高い教育を実現するため、活発な国際交流・国際共同研究を推進してまいります。

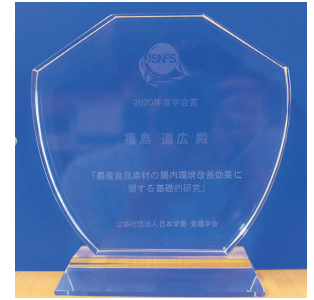


福島道広理事・副学長が日本栄養・食糧学会学会賞を受賞

福島道広理事・副学長が、令和2年度日本栄養・食糧学会学会賞を受賞しました。

日本栄養・食糧学会学会賞は、栄養科学または食糧科学に関する基礎的あるいは応用的学問分野において顕著な業績のあった者に授与されるものです。

このたびの受賞は、福島理事・副学長の研究「農産食品素材の腸内環境改善効果に関する基礎的研究」が、高く評価されたものです。



押田龍夫教授が日本哺乳類学会学会賞を受賞

押田龍夫教授が、令和2年度日本哺乳類学会学会賞を受賞しました。

本賞は、哺乳類学に関する一連の研究を通じて国際的に評価される成果を挙げ、哺乳類学の発展に大きな貢献をした者に授与される賞です。この度の受賞は、押田教授が長年続けている「リス科齧歯類に関する基礎生物学的研究」が、高く評価されたものです。

受賞理由は「ムササビ・モモンガ類の多様性と滑空性進化解明への貢献」であり、押田教授の研究は、野生哺乳類の多様性創出機構の解明に貢献するものであると期待されています。



逍遥歌酒器セットをご存知の方は いらっしゃいませんか？

同窓会副会長

辻 修

(工学S53卒)

今年話題といえば、碧雲蔵の酒造開始であろうか。そんな話を卒業生とFBで語っていたところ、農業工学科で教鞭をとられた故南部悟先生（S45～S55）のご子息の南部雄二氏（工学S60）より、写真の逍遥歌入りの酒器セットの情報が提供されました。ご本人は、故南部先生の遺品整理で出てきたということで、この酒器セットのいきさつについては、聞いていなかったということで、諸先輩方に伺ったところ、農産化学科で教鞭をとられていた石橋憲一先生（化学S42卒）から、昭和40年後半に生協で記念品として販売されていたとの情報を得ることができました。しかし、詳しいことは不明ということで、今回会報でこの酒器を紹介し、会員の皆様の中で、当時生協運営にかかわり、この販売のいきさつをご存知の方がいらっしゃいますでしょうか。

本学はもう少しで80周年を迎えますが、碧雲蔵のおいしいお酒を逍遥歌の入った酒器でいただければ、おいしさが倍増するのではと考えています。ということで、この酒器を実際に持っている方や製造のいきさつをご存知の方がいらっしゃれば私宛ご連絡いただければ幸いです。

連絡先 電話 0155-49-5510 FAX 0155-49-5514

メール tsuji@obihiro.ac.jp

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学・環境農学研究部門 辻 修



事務局だより

逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 総務課総務係 49-5216
 (平日 8:30-17:15)
 HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しております。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問合せは下記にお願いします。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)
 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 帯広畜産大学内
 Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996
 E-mail dousou@obihiro.ac.jp
 HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

本学同窓会の終身会費の徴収方法について

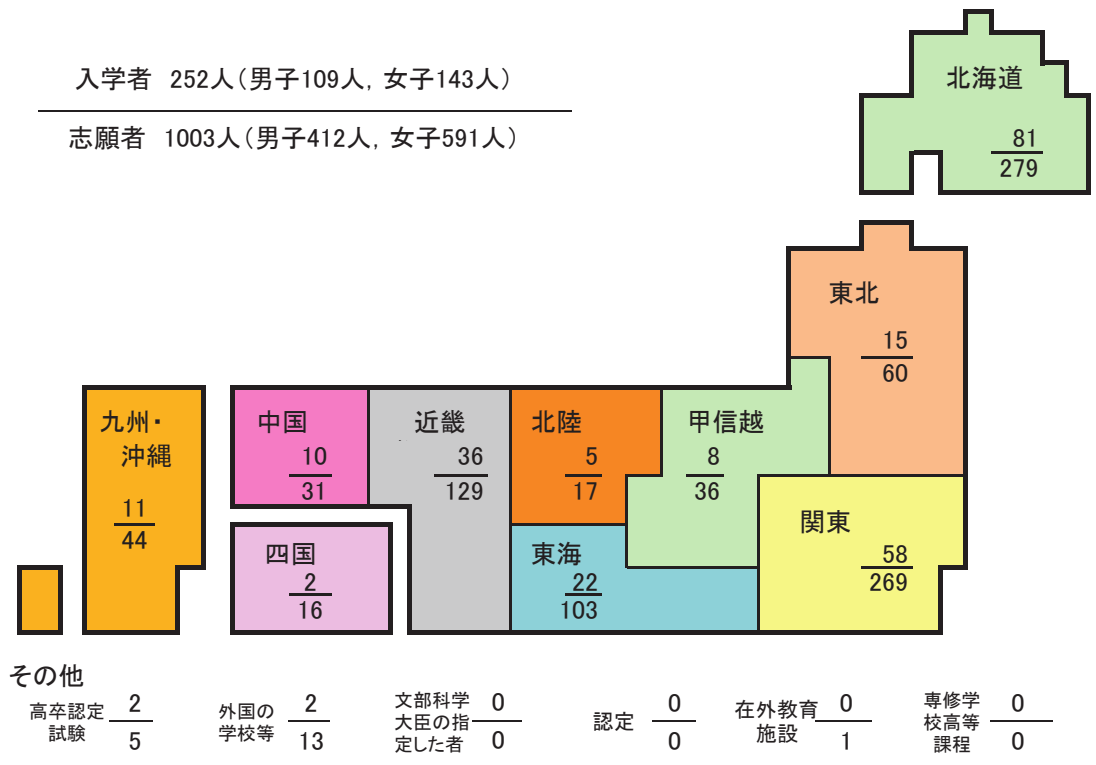
現役学生の保護者の皆様へ

これまで帯広畜産大学同窓会では、会費の徴収方法として、入学時に入学者の皆様から同窓会への協賛金としていただき、卒業の時点で同窓会会員となった時にその会費を終身会費に変更させていただいております。しかし、その煩雑性と他の大学の状況を見たとき、現役学生も入学した時点において準会員の資格を与え、その結果として、入学時に終身会費をいただくことといたしました。なお、特別な事情で、途中で大学を去る場合においては、本人からの申し出において、終身会費を返納することは、従来と変わっておりません。また、終身会費を納めていただき、入学時に同窓会に住所開示の許可をいただいた保護者の皆様には、同窓会報の発送も行い、本学同窓会の活動をご覧になっていただくことにいたしました。このような事情で、現役学生の保護者様にも同窓会会報を発送いたしましたので、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報ください。

また、本学の卒業生は、全国に散らばっており、現役の学生諸子の就職時にも、色々な分野の諸先輩の方々のお力も拝借できる体制となっています。その旨、ご子弟にお知らせいただき、同窓会事務局の先生方に連絡いただければ、全国の各支部に問合せを行うことも可能ですので、そのような観点からも同窓会を活用していただければ幸いです。

◆ 令和2年度学部地域別志願者・入学者状況

入学者 252人(男子109人, 女子143人)
 志願者 1003人(男子412人, 女子591人)



2018年度 事業報告

- 2018年10月6日 第2回ホームカミングデー共催（参加登録者153人 学外95人 学内58人）
- 10月7日 役員会・代議員会 開催
- 10月11日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 10月27日 九州・沖縄支部同窓会参加（奥田学長，野並室長，砂川会長，岸本事務局長出席，福岡市）
- 11月10日 兵庫県支部同窓会参加（奥田学長，岸本事務局長出席，神戸市）
- 12月11日 学部推薦入学合格者，社会人特別入試合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月25日 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 2019年1月11日 役員会開催，菅野典雄飯舘村村長特別講演会
- 3月6日 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 6月8日 関東支部同窓会参加（奥田学長，野並室長，砂川会長，辻副会長出席，東京都）
- 8月24日 役員会・代議員会開催
- 8月27日 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2019年10月，2020年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送
- 8月下旬 第26号 同窓会報の発行
- 9月14日 釧路支部同窓会参加（柳川理事，砂川会長出席）

2019年度 事業計画

- 2019年10月10日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 10月12日 役員会・代議員会，総会開催
- 10月12日 第3回ホームカミングデー共催（参加登録者160人 学外110人 学内50人）
- 11月16日 オホーツク支部同窓会参加
- 12月下旬 役員会開催
- 12月上旬 学部推薦入学合格者，社会人特別入試合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 2020年3月上旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 6月上旬 関東支部同窓会参加
- 8月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2019年10月，2020年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送

帯広畜産大学同窓会平成30年度通常会計決算報告

(平成30年10月1日～令和元年9月30日)

項目	H30年度予算	H30年度決算	増減	備考
前年度繰越金	6,326,078	6,326,078	0	前年度繰越金
名簿販売	0	9,000	9,000	名簿:3,000×3冊
終身会費	4,000,000	4,360,000	360,000	20,000×218(終身会費)
雑収入	63,360	313,593	250,233	利息(JA)、寄付金
合計	10,389,438	11,008,671	619,233	



項目	H30年度予算	H30年度決算	増減	備考
印刷代	2,000,000	729,000	△ 1,271,000	同窓会報印刷
通信、郵送料	2,000,000	2,851,632	851,632	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	800,000	696,400	△ 103,600	施設管理費、アルバイト
事務費	50,000	104,834	54,834	名簿データベースシステム、ホームページ更新代、文房具
会議費	50,000	40,000	△ 10,000	役員会、代議員会経費
交通費	600,000	46,400	△ 553,600	役員旅費
役員手当	200,000	159,000	△ 41,000	役員日当
記念品代	50,000	0	△ 50,000	
雑費	100,000	161,306	61,306	終身会費返金、重複納入者の基金への寄付
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	3,539,438	28,361	△ 3,511,077	延滞金、香料、生花代
合計	10,389,438	5,816,933	△ 4,572,505	

収入金額 11,008,671 円 ①
 支出金額 5,816,933 円 ②
 次年度繰越金額 5,191,738 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和元年10月11日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会平成30年度周年事業特別会計決算報告 (平成30年10月1日～令和元年9月30日)

項目	H30年度予算	H30年度決算	増減	備考
前年度繰越金	14,390,698	14,390,698	0	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	320	538	218	定期預金利息
合計	15,391,018	15,391,236	218	



項目	H30年度予算	H30年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,300,000	787,742	△ 512,258	ホームカミングデー協賛経費、各支部総会への役員派遣、菅野様講演旅費
周年事業基金	14,091,018	0	△ 14,091,018	
合計	15,391,018	787,742	△ 14,603,276	

収入金額 15,391,236 円 ③
 支出金額 787,742 円 ④
 次年度繰越金額 14,603,494 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和元年10月11日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会2019年度通常会計予算

(2019年10月1日～2020年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	2019年度予算	2018年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	5,191,738	6,326,078	△ 1,134,340		
名簿販売	0	9,000	△ 9,000		
終身会費	4,000,000	4,360,000	△ 360,000	20,000×200人	
雑収入	50,262	313,593	△ 263,331	利息、寄付金	
合 計	9,242,000	11,008,671	△ 1,766,671		

支出の部					単位：円
項 目	2019年度予算	2018年度決算	増 減	備 考	
印刷代	1,500,000	729,000	771,000	同窓会報印刷等	
通信・郵送料	1,500,000	2,851,632	△ 1,351,632	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	800,000	696,400	103,600	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	370,000	104,834	265,166	事務用品、会員データシステム年間メンテナンス	
会議費	50,000	40,000	10,000	役員会、代議員会等経費	
交通費	600,000	46,400	553,600	役員旅費	
役員手当	200,000	159,000	41,000	役員日当	
記念品代	50,000	0	50,000	感謝状楮等	
雑費	200,000	161,306	38,694	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	2,972,000	28,361	2,943,639		
合 計	9,242,000	5,816,933	3,425,067		

帯広畜産大学同窓会2019年度周年事業特別会計予算

(2019年10月1日～2020年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	2019年度予算	2018年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	14,603,494	14,603,494	0		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	506	538	△ 32	利息ほか	
合 計	15,604,000	15,604,032	△ 32		

支出の部					単位：円
項 目	2019年度予算	2018年度決算	増 減	備 考	
周年事業活動費	1,300,000	782,530	517,470	各支部総会への役員派遣、ホームカミングデー協賛金など	
周年事業基金	14,304,000	0	14,304,000	80周年記念事業に向けて	
合 計	15,604,000	782,530	14,821,470		

2019年度 事業報告

- 2019年10月10日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 10月12日 役員会・代議員会，総会開催（総会登録 54人）
- 10月12日 第3回ホームカミングデー共催（参加登録者160人 学外110人 学内50人）
- 11月16日 オホーツク支部同窓会参加（柳川理事，西田会長，辻副会長出席，北見市）
- 12月7日 役員会開催
- 12月10日 学部推薦入学合格者，社会人特別入試合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月24日 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 2020年2月8日 岡山県支部同窓会参加（奥田学長，野並補佐，西田会長，岸本事務局長出席，岡山市）
- 3月6日 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月19日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈（延期，日程未定）
- 6月20日 関東支部同窓会参加（中止）
- 6月30日 代議員会（6月30日付文書開催）
- 8月25日 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2019年10月，2020年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送

2020年度 事業計画

- 2020年10月8日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 10月10日 第4回ホームカミングデー共催（中止）
- 10月中旬 役員会・代議員会（文書開催）
- 11月下旬 同窓会報第27号発刊予定
- 12月上旬 役員会開催
- 12月上旬 学部推薦入学合格者，社会人特別入試合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月下旬まで 前年度入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 2021年3月上旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月19日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 8月上旬 役員会・代議員会
- 8月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2019年10月，2020年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送

帯広畜産大学同窓会令和元年度通常会計決算報告

(令和元年10月1日～令和2年9月30日)

項目	令和元年度予算	令和元年度決算	増減	備考
前年度繰越金	5,191,738	5,191,738	0	前年度繰越金
名簿販売	0	6,000	6,000	名簿: 3,000×2冊
終身会費	4,000,000	3,740,000	△ 260,000	20,000×187(終身会費)
雑収入	50,262	117,263	67,001	利息(JA、ろうきん)、国際郵便返金、寄付金、基金誤入金
合計	9,242,000	9,055,001	△ 186,999	



項目	令和元年度予算	令和元年度決算	増減	備考
印刷代	1,500,000	0	△ 1,500,000	
通信・郵送料	1,500,000	91,871	△ 1,408,129	通信・郵送料、料金受取払い、振替手数料
人件費	800,000	525,900	△ 274,100	施設管理費、アルバイト
事務費	370,000	13,728	△ 356,272	封筒代
会議費	50,000	0	△ 50,000	役員会、代議員会経費
交通費	600,000	202,705	△ 397,295	役員旅費
役員手当	200,000	132,000	△ 68,000	役員日当
記念品代	50,000	37,990	△ 12,010	感謝状橋
雑費	200,000	203,000	3,000	終身会費返金、重複納入者の基金への寄付
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	2,972,000	2,244	△ 2,969,756	弔電
合計	9,242,000	2,209,438	△ 7,032,562	

収入金額 9,055,001 円 ①
 支出金額 2,209,438 円 ②
 次年度繰越金額 6,845,563 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和2年10月9日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会令和元年度周年事業特別会計決算報告

(令和元年10月1日～令和2年9月30日)

項目	令和元年度予算	令和元年度決算	増減	備考
前年度繰越金	14,603,494	14,603,494	0	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	506	64,756	64,250	定期預金利息
合計	15,604,000	15,668,250	64,250	



項目	令和元年度予算	令和元年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,300,000	227,450	△ 1,072,550	各支部総会への役員派遣
周年事業基金	14,304,000	0	△ 14,304,000	
合計	15,604,000	227,450	△ 15,376,550	

収入金額 15,668,250 円 ③
 支出金額 227,450 円 ④
 次年度繰越金額 15,440,800 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和2年10月9日

監事

石塚 紘達 
 中家 敏博 

帯広畜産大学同窓会令和2年度通常会計予算

(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	令和2年度予算	令和元年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	6,845,563	5,191,738	1,653,825	
名簿販売	0	6,000	△ 6,000	
終身会費	4,000,000	3,740,000	260,000	20,000×200人
雑収入	20,000	117,263	△ 97,263	利息、寄付金
合 計	10,865,563	9,055,001	1,810,562	

支出の部				単位：円
項 目	令和2年度予算	令和元年度決算	増 減	備 考
印刷代	1,500,000	0	1,500,000	同窓会報印刷等
通信、郵送料	1,500,000	91,871	1,408,129	通信・郵送料、料金受取払い、同窓会報送料
人件費	800,000	525,900	274,100	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	370,000	13,728	356,272	事務用品、会員データシステム年間メンテナンス
会議費	50,000	0	50,000	役員会、代議員会等経費
交通費	600,000	202,705	397,295	役員旅費
役員手当	200,000	132,000	68,000	役員日当
記念品代	50,000	37,990	12,010	感謝状楯等
雑費	200,000	203,000	△ 3,000	郵便振込料金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	4,595,563	2,244	4,593,319	
合 計	10,865,563	2,209,438	8,656,125	

帯広畜産大学同窓会令和2年度周年事業特別会計予算

(令和2年10月1日～令和3年9月30日)

収入の部				単位：円
項 目	令和2年度予算	令和元年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	15,440,800	14,603,494	837,306	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	1,000	64,756	△ 63,756	利息
合 計	16,441,800	15,668,250	773,550	

支出の部				単位：円
項 目	令和2年度予算	令和元年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,300,000	227,450	1,072,550	各支部総会への役員派遣、ホームカミングデー協賛金など
周年事業基金	15,141,800	0	15,141,800	80周年記念事業に向けて
合 計	16,441,800	227,450	16,214,350	

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。〔敬称略〕

中 明 忠 義 (S43年 農産化学)	高 妻 正 和 (S36年 獣医学科)	西 村 司 (S44年 農工工学科)
小 林 一 博 (S28年 獣医学科)	沢 田 隆 悦 (S23年 農芸化学科)	岩 寺 重 信 (S22年 農専獣医畜産科)
小 野 朋 己 (S60年 農産化学科)	重 谷 孝 男 (S34年 酪農学科)	笠 原 喜 七 (S28年 獣医学科)
高 橋 弘 (S23年 農芸化学科)	鈴 木 省 三 (旧教員)	中 谷 亮 治 (H4年 農工工学科)
青 山 修 三 (S44年 草地学科)	高 山 俊 雄 (S28年 酪農学科)	佐 藤 宏 司 (S30年 酪農学科)
金 田 博 邦 (S28年 酪農学科)	花ヶ前 董 (S28年 獣医学科)	関 録 朗 (S20年 帯広獣医畜産専門学校)
高 橋 博 (S19年 獣医畜産科)	久 保 嘉 治 (旧教員)	茅 野 勘 治 郎 (S53年 畜産経営学科)
西 村 一 孝 (S34年 獣医学科)	小 卷 英 一 (S18年 高獣獣医科)	卯 野 興 治 (S42年 農工工学科)
杉 田 治 八 郎 (旧教員)	中 村 功 男 (S25年 獣医学科)	福 家 義 春 (S48年 草地学科)
島 田 三 夫 (S36年 獣医学科)	助 川 金 次 郎 (旧教員)	藤 田 茂 治 (S57年 草地畜産専修)
武 田 文 夫 (S45年 獣医学科)	松 岡 善 太 郎 (S22年 帯広農業専門学校・獣医畜産科)	菊 地 輝 夫 (S26年 農専農学科)
角 井 義 明 (S34年 酪農学科)	和 田 孝 弘 (S51年 草地学科)	油 谷 勝 弘 (S32年 獣医学科)
後 藤 義 英 (S23年 獣医畜産科)	小 間 信 彦 (S22年 帯広農業専門学校・獣医畜産科)	松 井 箴 二 (S25年 農芸化学科)
斎 藤 稔 (S31年 酪農学科)	福 永 義 照 (旧教員)	安 部 優 (S31年 獣医学科)
寺 山 憲 二 (S49年 農産化学科)	今 野 等 (S23年 獣医畜産科)	梅 田 由 紀 子 (S63年 畜産環境学科)
小 林 道 幸 (S41年 獣医学科)	中 村 藤 樹 (S30年 酪農学科)	小 川 敬 信 (S26年 農専酪農科)
小 泉 瞬 (S18年 帯広高等獣医学校)	奥 代 修 二 (S23年 獣医畜産科)	西 埜 進 (S24年 農専酪農科)
南 部 悟 (旧教員)	青 木 稔 (S25年 農芸化学科)	五 十 嵐 守 (S34年 獣医学科)
成 田 武 四 (旧教員)	大 野 孝 道 (S33年 酪農学科)	高 木 重 広 (S19年 帯広獣医畜産専門学校)
山 田 穂 (S20年 帯広獣医畜産専門学校)	松 本 知 之 (S55年 大学院畜産学研究所獣医学専攻)	安 藤 博 (S36年 酪農学科)
中 原 弘 (S24年 農専・獣医)	山 田 實 (S23年 農専酪農科)	
浦 崎 博 行 (S40年 獣医学科)	稲 川 直 彦 (S24年 農専酪農科)	

*2019年8月から2020年8月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

編 集 後 記

帯広畜産大学同窓会報第27号をお届けします。

本年度は総会の開催がない年で、例年ですと10月初旬に役員会ならびに代議員会を開催し前年度の事業報告や会計報告、また新年度の事業計画や予算について審議します。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響でこれらの会議を文書による開催としました。そのため会報の発刊が例年より遅れることになり、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

西田会長の記事にもありますように、同窓会として大学と協力し新型コロナウイルス感染症での学生への就学支援について臨時の役員会・代議員会を開催し支援策を決定しました。今後の感染症の影響に対しても対応してゆく予定です。支援策の内容の詳細は西田会長の記事をご参照ください。

明るい話題として会報の1面には本学キャンパス内に完成しました上川大雪酒造の「碧雲蔵」の紹介を掲載しました。一般向けの販売も開始されますので、大学へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

今年は何年開催されている全国の支部同窓会も多くが中止になったようです。大学主催のホームカミングデーも中止となりました。来年は同窓会総会が開催される年にあたります。感染症の状況が改善され日常に戻り、各種行事が開催されることを切に願うばかりです。

(文責：岸本正)

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の管理
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
 - 1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 - 2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 - 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
 - 4) その他代議員会で認めたもの
 2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
 3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
- 第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
- 第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
 2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
- 第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することが出来る。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
- 第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。